

Stand UP!!!! NO.25

2017年11月17日

発行責任者 佐久間 晃史

編集責任者 情 宣 部

2017年度年末手当妥結**基準内賃金×1.6カ月+0.04カ月****(0.04カ月は会社発足30年の労苦に報いる分・・・はあ?)**

JR貨物労組は回答指定日を1日越えた本日、2017年度年末手当の最終交渉を行い「基準内賃金×1.6カ月+0.04カ月（0.04カ月は会社発足30年の労苦に報いる分）」で妥結しました。

経営陣よ恥を知れ(怒)

今年末手当では全国の青年部員30名での本社要請行動、全国の青年部員署名の怒色紙の闘いを展開し、若年退職が止まらない現状、業務量増加による職場の疲弊した実態、超低額な夏季手当への怒り、これまでの会社の不誠実な姿勢を質す事などを訴えてきました。しかし、経営陣は職場で汗して働く青年部員の生の声を聞いても、私たちの努力に報いることはありませんでした。

**計画、計画、計画・・・
社員の事をなぜ見ないのか!?**

交渉の中で会社は「職場の実態は把握している」と言いながらも、口を開けば「鉄事黒を継続しなければならない」「計画が不透明」と、職場で働く青年部員よりも数字しか見ない企業の本質が改めて鮮明となりました(怒)そもそも会社は手当について「業績給」と言っていたがいつから「計画給」になったのか!?このような不誠実な経営を続ける限りこの会社に未来は無い事をいい加減に認識すべきだ!!なんとしてもこの経営姿勢を青年部から質していくぞ!

更なる闘いで現実を見ようとしない経営陣を糾弾していこう!